



書き方みほん

記入日:令和 ○ 年 ○ 月 ○○日

記入者: ○○○ ○○(続柄 母)

●基本情報

ふりがな	○○ ○○	性別	生年月日	平成・令和 年 月 日	年齢
本人の名前	○○ ○○	男・女			
ふりがな		続柄	ふりがな		続柄
保護者① 氏名			保護者② 氏名		
緊急連絡先 氏名		続柄	電話番号	-	-
住所/電話 ①	〒 (年 月 ~ 年 月) 電話番号()				
住所/電話 ②	〒 (年 月 ~ 年 月) 電話番号()				
住所/電話 ③	〒 (年 月 ~ 年 月) 電話番号()				

現住所をお書きください。
引越した場合には、次の行をお使いください。

自宅の連絡先をお書きください。

●家族の状況

氏名	性別	続柄	生年月日	同居の別	備考 (職業、健康状態など)
○○ ○○	男・女	父	H2.○.○	同・別	会社員
○○ ○○	男・女	母	H2.○.○	同・別	単身赴任中
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	



●これまでの通園や診療の履歴

	ふりがな ○○ ○○		平成・令和 ○年 ○月 ○○日	
	本人の名前 ○○ ○○	男(女)	生年月日	
年代	保健センター、役所、 保育所・幼稚園、相談 支援事業所、通所支援 事業所、親の会など 機関名	相談日 担当者	相談内容や支援内容 (乳幼児健診の結果なども含めて) ※スペースが足りない場合は「追加様式」をお使い ください	医療機関 (名称・ 診療科 ・主治医)
0 ～ 2 歳	○○市保健福祉センター	○年 ○月○日 ○○保健師	10か月健診で、ハイハイせず、つかまり立ちもなかつたので、市の保健師に相談するようかかりつけの先生から言われた。1歳になったがまだハイハイできない。 保健師に訪問してもらった。 (言われたこと) ずりばいやお座りが上手。遊べるスペースを確保して動く機会を増やしましょう。 市の発達相談を勧められる。	
	○○市発達相談 ○○理学療法士	○年 ○月○日	(相談内容) ハイハイがまだできない。どうしたらいいか。 (助言) ・布団やクッション、大人の足や身体を乗り越えるような遊び・環境を作る。 ・大人の足に子どもをまたがらせて、足で床を蹴る経験を増やしましょう。	
3 ～ 5 歳 (保育所・幼稚園)	○○保育園	○年 ○月○日 ○組担任	一人で遊んでいることが多いと言われた。先生が声をかけて一緒に遊ぶことはできる。友達同士のやりとりは少ないようだ。	

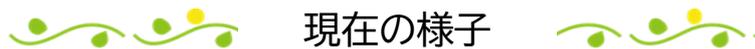
年代	小・中・高等学校等 における在籍クラス (通常・特別支援・通級 など)	相談支援事業所、利用し ている福祉サービス	相談内容や支援内容、状況など ※スペースが足りない場合は「追加様式」 をお使いください	医療機関 (名称・診療科 ・主治医)
	名称・在籍	名称・担当者		
小学校等	通常学級	〇〇事業所〇〇さん 放デイ〇〇 〇〇先生	〇〇事業所 〇〇さんと相談 時々疲れが見えるが、放デイでは落 ち着いているようだ。 1-1 担任 学校では、よく友達とけんかになる よう。特別支援学級について話を聞 いた。	
	特別支援学級 (ひまわり)	〇〇事業所〇〇さん 放デイ〇〇 〇〇先生	特別支援学級担任と相談。 課題には一生懸命取り組んでいる、 休み時間には元のクラスの子と遊ん でいるようだ。	
中学校等				
高等学校等				
大学・専修 学校等	(学科・専攻等)			



●相談の記録

※「これまでのあゆみ」に書ききれない場合や、相談に行く前に書き留めるメモとしてお使いください。

ふりがな	○○ ○○	男・女	生年月日	平成・令和
本人の名前	○○ ○○			○年 ○月 ○○日
相談日 (年齢・学年)	相談内容			
RO年○月○日	(相談内容)			
○才	食事中に遊んでしまい、最後まで食べない。どうしたらいいのか？			
○○市こども発	(助言)			
達相談会	・まずは間食があればやめる。それでも食べなければ食事の量を減らしてみる。			
○○心理士	・食事の間はテレビを消す。興味のあるものが目に入らない席の配置にする。			
	・保育園・幼稚園などに通園している場合は、園の先生に食事の様子を聞いて参考にする。			
	・終わりの時間を決めて、時間になったら片付ける。「時計の針が○まで食べようって言ったけど、食べられなかったからおしまいだね。ごちそうさましようね。」と言って片付ける。『約束』の経験をさせる。どうして片付けるのか一緒に振り返る。その後、子どもが嫌で泣いても片付ける。			
	・スプーンやフォークがまだ上手に使えないということも考えられる。その場合は、食べやすい工夫をする。(例:深い皿を使う、ご飯をボール状にしてフォークで刺しやすくするなど)			
	・手首を返す動きが不得意なこともあるので、手首を返す動きを生活に取り入れる。(例:お風呂で自分の身体を洗う、おしぼりを絞るなど) 普段の生活の積み重ねでスプーンやフォークの使い方方も上手になる。			
	・離席する前に「まだ残っているよ」と声をかける。離席してから食べさせるでは遅い。離席して食べない時は「ごちそうさま」をして終わる。「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつは必ずする。			
	・身体を支える力があるか。体幹が弱い、または座面がツルツルして椅子に座りにくいことも考えられる。体幹の弱さを感じる場合は、散歩やジャングルジムなど身体を使った遊びをたくさん取り入れる。座面がツルツルしていて座りにくい場合は、座面に滑り止めマットを利用してみる。			



現在の様子

()歳の様子(令和 ○年 ○月 ○日現在)

保護者から

特に好きな遊び、スポーツ、趣味	ダンス お絵描き 好きな曲を聴く	
得意なこと、得意なお手伝い、作業等	買い物から帰ったら玄関から部屋まで荷物を運んでくれること	
本人が喜ぶほめ方・コミュニケーション方法	「よくできました」と声をかけてもらうこと 「なんで」とよく聞くので予告をしたりやり方を説明すると素直に行動してくれる	
嫌いなことや苦手なこと	自分の思い通りにならないと、大声で泣いたりひっくり返ったりすることがある	
できたらいいなと思う目標	次の行動にスムーズに移れること	できたこと(一部でもできたら書きましょう) ・次の予定を話しておくでスムーズにできることが多い 「片づけたら買い物に行きます」

関係機関から

	所属名: ○△	所属名:
特に好きな遊び、スポーツ、趣味	音楽を聴いてダンスする事 ママゴト三輪車 水遊び	
得意なこと、得意なお手伝い、作業等	制作活動 スケジュールを毎朝見る事	
本人が喜ぶほめ方・コミュニケーション方法	「すごいね」と褒めるとハイタッチをして喜ぶ 不満なことでも説明を丁寧に行くと納得してくれる	
嫌いなことや苦手なこと	やっていることを途中で止められることが苦手 気が散りやすく、着替え等の身支度に時間がかかってしまう	
集団でのようす (ルール・マナー配慮点)	おもちゃを使いたいときに、お友達に「貸して」と言うことができる 順番に並ぶときは、視覚的に並ぶ場所が分かったら、並ぶことができる	



●手帳 あり・なし (どちらかに○をつけてください)
 ※ある方は記入してください

手帳の種類	障がいの程度、等級	交付年月日	次回判定、有効期限年月日
療育・精神・身体 (※取得手帳に○)	療育手帳 B2	令和〇〇年△月◇日	



●医療、衣食住などにおいて配慮が必要なこと

①医療に関すること	無・有 <input checked="" type="radio"/> 有	病気など (内容)	
定期通院			
くすり	無・有 <input checked="" type="radio"/> 有	くすり名()	飲ませ方の工夫()
②アレルギー	無・有 <input checked="" type="radio"/> 無	食物・薬物・その他	緊急時の対応方法
③感覚の感じ方	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	苦手な感覚、又は、気づきにくい感覚 (大きな音・肌触り・手の汚れ・におい・怖く感じるもの・光・温度 <input checked="" type="radio"/> 偏食) 痛み・ぶつかっても気づきにくい・その他()	
④安全面 (社会参加を妨げる行動)	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	危険回避や事故予防 内容 興味が向くままに行動してしまう	
⑤制限が必要な行動	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	活動制限(内容 疲れると怒りっぽくなるので適度に休憩を入れてください) 食事制限(内容 卵は完全に熱を通して食べさせてください)	
⑥日常生活動作	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	食事・衣類や着替え・排泄・入浴・移動・作業 慣れないトイレに行くことが難しいので、トイレに行けたらごほうびシールの設定をしてください	
⑦心理的な安定 (空間、居場所)	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	好きな曲を聴ける場所を決めてください	
⑧学習と休憩時間の 過ごし方	配慮 不要 <input checked="" type="radio"/> 要	配慮や工夫していること 決まった物の中からやりたいことが自分で選べるようにしてください	
⑨その他、配慮してほしいこと		言葉は話せませんが、言葉より目で見てわかる配慮をしてください	



●コミュニケーションの取り方

<p>声がけする時の配慮 (こちらから指示する時、 本人の答えを聞きたい時)</p> <p>配慮を要する項目 の番号に○を記入 (いくつでも)</p>	<p>特になし 必要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.声の大きさに注意してほしい 2.短い言葉で言ってほしい 3.絵や写真、文字で示してほしい 4.予告をしてほしい 5.選択肢を準備してほしい 6.「ダメ」だけでなく、してほしい行動を具体的に言ってほしい 7.その他 <p>[]</p>
<p>本人の答え方の特徴</p> <p>該当する項目の 番号に○を記入 (いくつでも)</p>	<p>特になし あり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.はい、いいえが言葉で言えない 2.要求を言葉で言えない 3.困ったことを言葉で言えない 4.答えるまでに時間がかかる 5.目(視線)を合わせられない 6.返答に困ると沈黙してしまう 7.不安になると話し続ける 8.相手のことを気遣えず話し続けてしまう 9.カード・サイン(身振り)を使用する 10.その他 <p>[]</p>



●本人が困っている時の様子やその対応「こうすれば大丈夫です」

※「配慮の工夫など、つなげたい情報」のシートを使っても便利です。

<p>困ったり不快に 感じる場面 (苦手なこと)</p> <p>該当する項目の 番号に○を記入 (いくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.急な予定の変更のとき 2.周りの音が気になるとき(場面:) 3.急に話しかけられたとき 4.痛みや不快があるとき 5.返答に困る質問をされたとき 6.自由な時間など、今すべきことがわからないとき 7.自分の意見が通らない時 8.その他 <p>[]</p>
<p>困ったり不快に 感じる場合に とりやすい行動</p> <p>該当する項目の 番号に○を記入 (いくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.かんしゃくをおこす 2.動けなくなる・黙ってしまう 3.大きな声をあげる(ひとりごとを言う) 4.一方的に話す 5.走りまわる 6.テンションが(上がる・下がる) 7.こだわりが強くなる 8.ニヤニヤする 9.耳をふさぐ 10.自傷・他傷 11.その他 <p>[]</p>
<p>困ったり不快に 感じる場合の 対応の仕方</p> <p>該当する項目の 番号に○を記入 (いくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.静かな刺激の少ない所に移る 2.見守ってくれる人が寄り添う 3.落ち着いてから、穏やかな声でゆっくり話す 4.次の行動について、具体的な指示をする 5.身体の不調(気温の影響、空腹、疲労、痛みなど)があれば、休ませたり受診を勧める 6.気持ちを代弁してあげる 7.その他 <p>[]</p>



●保護者から、小学校等・学童・放課後等デイサービスの先生に伝えておきたいこと

継続して ほしい配 慮、保護 者の思い など	<p>スケジュールの提示をしてください 終了が近づいてきたら、「あともう少しだね」「これをやったらおわりだね」とこまめに予告をしてください</p> <p>現在うまくいっている配慮で、引き続き行って欲しいことや、その他、本人を知る上で必要なことがありましたら、何でもお書きください</p>	日付
------------------------------------	---	----

●保護者から、中学校等の先生に伝えたいこと

継続して ほしい配 慮、保護 者の思い など		日付
------------------------------------	--	----



☆こんな配慮が助かります！

「こんな時、こうしたら上手くいくかも」という内容を書きましょう！
(周りの人といろいろな場面について情報交換しながら一緒に書きこんでいきましょう。)

<p>こんな時って…</p> <p>急に予定を変更したとき</p>	<p>どんな理由かな？</p> <p>急な変更で驚いてしまう。 見通しがもてなくて不安になる。</p>
<p>実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ他の予定も考えておき、伝えておく。(晴れたら公園、雨なら図書館に行きます。) ・どうして変更になったのかを丁寧に伝える。 ・対象のものを見せて自分で選ばせる。「AはできないけどBかCどっちにする？」 ・文字などで目の前で書いて見せながら、これからの予定を伝える。書いた紙は貼っておくと安心しやすい。 	

<p>こんな時って…</p> <p>着替えを嫌がったり時間がかかったりする時</p>	<p>どんな理由かな？</p> <p>途中で他のものに興味がいつってしまう。 着替えがうまくできないから、やる気がでないのかな？</p>
<p>実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビや音楽を消して静かな環境にする。 ・一つずつ行動を伝えて一つずつほめる！「シャツとズボンどっち脱ぐ？」「上手に脱げたね！」「次は靴下だね」 ・「何秒で脱げるかな？」「変身！」など、楽しくできるように声かけを工夫する。 ・最後の行程一歩前まではやってあげて、最後は自分でさせて「自分でできた！」という気持ちをもたせる。 	

<p>こんな時って…</p>	<p>どんな理由かな？</p>
<p>実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)</p>	



配慮の工夫、つなげたい情報



☆こんな配慮が助かります！

「こんな時、こうしたら上手くいくかも」という内容を書きましょう！

(周りの支援者といろいろな場面について情報交換しながら一緒に書きこんでいきましょう。)

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

【使い方の流れ】(就学のタイミングの場合)

保護者がお子さんに関する情報を記入する。または、保育施設等の先生に相談し一緒に作成する。



シートの「現在の様子」について、担任の先生等にお子さんの情報を記入してもらう。



シートを返却してもらい、保護者が保管(持っている)する。



入学を予定している小学校等または、進級予定のクラスの担任の先生へ提出する(学校は提出後コピーなどをもって原本は保護者に返却してください。)

※提出する時期については、学校と保護者の方で相談してください。

- ◆ 小学校等入学のタイミングに限らず、乳幼児期や学校入学後に使い始める方も多くいます。使い始めたタイミングで、このシートをきっかけとして保護者と担任の先生とでお子さんのことについて話す機会を設けていただければと思います。
- ◆ 通所している児童発達支援事業所や放課後等デイサービスの方にも、施設での様子を記入してもらいましょう。

【確認欄】 ★見ました！★

年度	年月日	所属等	確認者名
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		

*入学、進級、進学した際など、先生等がシートを確認したらこの表にサインをしてください。